

ぶんすいちくだいにき

# 分水地区第二期

(新潟県燕市)

- 計画期間 平成27年度～令和元年度
- 面積 301ha
- 交付対象事業費 323百万円
- 市人口 77,687人

## ポイント

安心安全で、魅力・活力あふれる暮らしやすい市街地づくり

## 地区概要

浸水被害の軽減を図るための排水路の整備及び調整池の設置や恵まれた自然環境、地域資源を活かしながら暮らしやすい環境整備に向けて公園の一部を整備する。

## 目標

浸水被害の少ない安心安全な市街地環境の向上を図るとともに、快適に暮らすことができる魅力ある住環境の整備を推進する。

## 指標

雨水排水対策整備によりどれだけ浸水被害が減少したかの回数、公園施設の整備によりどれだけ地域住民等の利用が促進されたかの利用者数、市街地整備や定住促進事業のPRなどを図ることにより世帯数の確保及び増加が見込まれるかを指標として設定する。

集中豪雨が発生した場合の浸水回数	4回/年 (H25)	→	0回/年 (R02)
公園の休日における利用者数	3,100人/年 (H25)	→	8,400人/年 (R02)
まちづくり協議会地区の世帯数	3,010世帯/年 (H25)	→	3,169世帯/年 (R02)

## 事業内容

基幹事業 (320百万円) → 道路改良(1箇所 L=167m)、調整池設置(1箇所 雨水貯留槽 B49m×W23m×H1.0m) 排水路改修(1箇所 L=167m)、公園整備(1箇所 A=49,638㎡)

提案事業 (3百万円) → 事業効果分析(一式)



## 地区の現況と課題

### 地区の現状

分水地区は、市の南西部に位置し、分水駅を中心とした市街地と周辺地域であり、新潟と柏崎を結ぶ国道 116 号や信濃川の洪水から越後平野を守る大河津分水路が存在する。大河津分水路沿いの桜並木及び良寛のゆかりの地であり、観光の推進と国道 116 号周辺に工業、商業の導入によるまちづくりを進めてきたものの、一部の市街地で地盤の低い地域があることから、近年の集中豪雨で度重なる被害に見舞われ、水害に対して脆弱となっているため、市街地浸水対策として貯水施設を整備しました。

また、隣接する大河津分水さくら公園の機能充実を図ることにより、大河津分水路周辺の自然環境や文化遺産を活かしつつ、地域住民等の交流の場として、多くの市民から親しまれております。

### 地区の課題

- ・ 地域住民の浸水被害に対する不安を払拭する雨水排水対策等による市街地の安心安全環境の向上を図る。
- ・ 緑の空間を舞台とした公園等の整備することにより、地域住民等の交流機会、子育て世代への定住化の促進及び定住世帯の確保を図る。

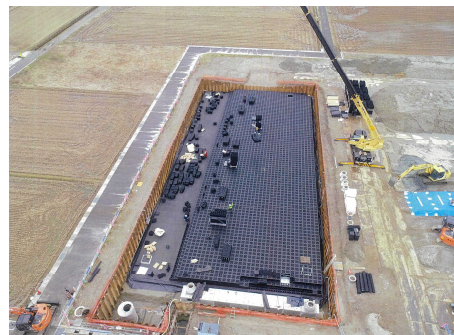
## 計画策定プロセス

### 都市再生整備計画(第一期計画)

本地区において、平成 18 年度から平成 22 年度において、分水地区都市再生整備(第一期計画)で、若い世代が定住するような豊かな自然と調和の利便性、文化性の高い都市生活できる住環境の形成、生活拠点としての中心性を維持する都市基盤や交流施設により魅力ある生活環境の形成などの整備に取り組み、目標としていた若年層の定住と地域交流を促進するまちづくりが図られたものの、近年では高齢化人口が増加しつつ、また集中豪雨による浸水被害が発生するなど、浸水被害の軽減に向けた整備が必要なため、引き続き良好かつ魅力的な市街地環境の形成を図るものとする。



▲雨で浸水被害が発生した現場状況



▲雨水排水対策(貯水施設整備)



▲大河津分水さくら公園遊具整備状況



▲第一期計画事後評価 評価委員会